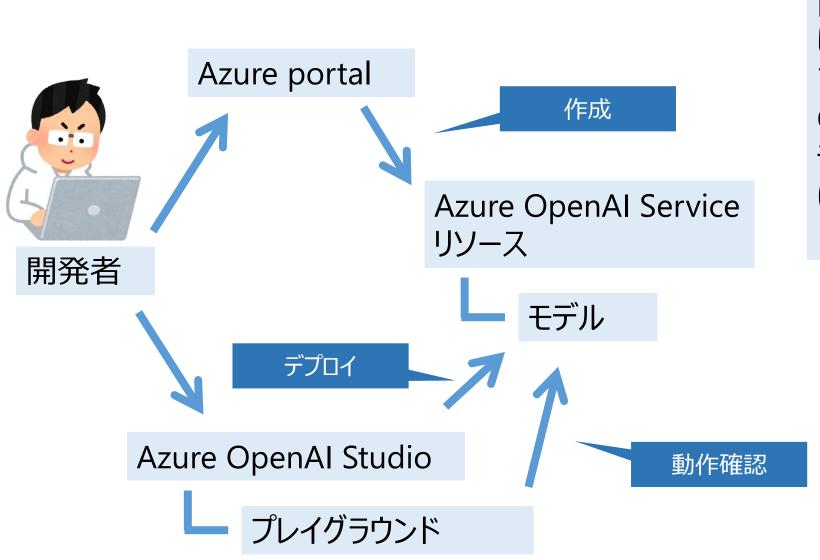
AI-050

補足資料: Module02

Azure OpenAl Service を使用して自然言語ソリューションを構築する

- Azure OpenAI をアプリに統合する
- Azure OpenAl REST API を使用する
- Azure OpenAI SDK を使用する

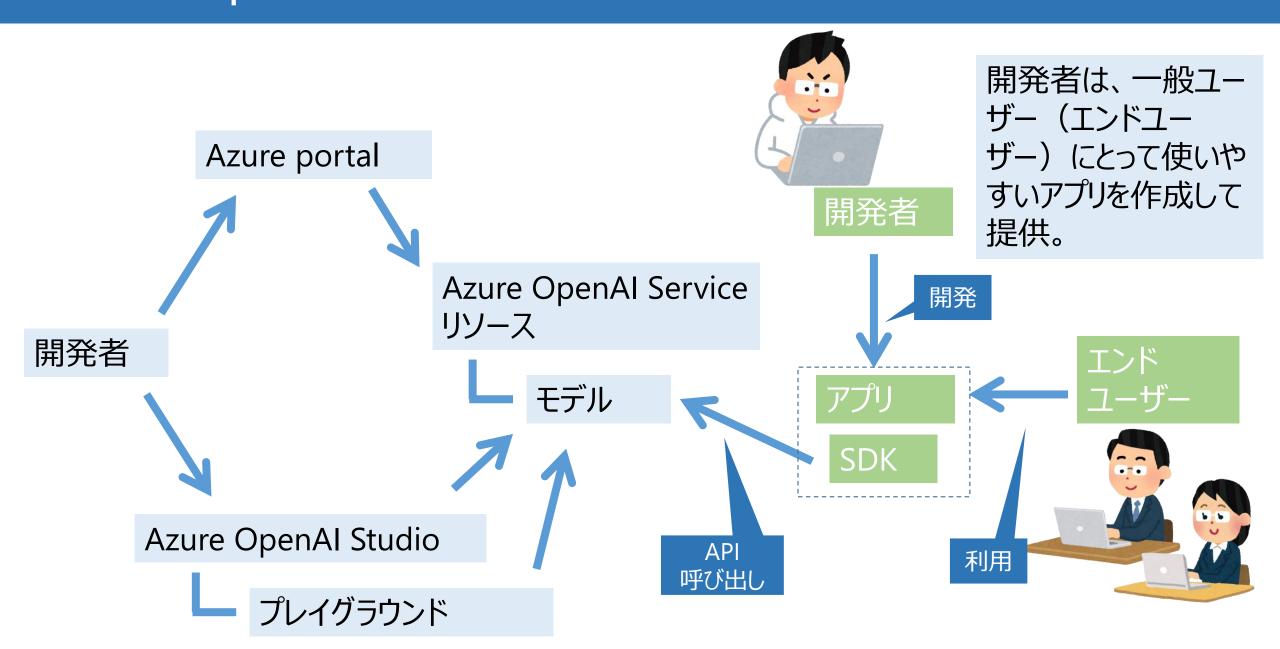
ここまでの説明

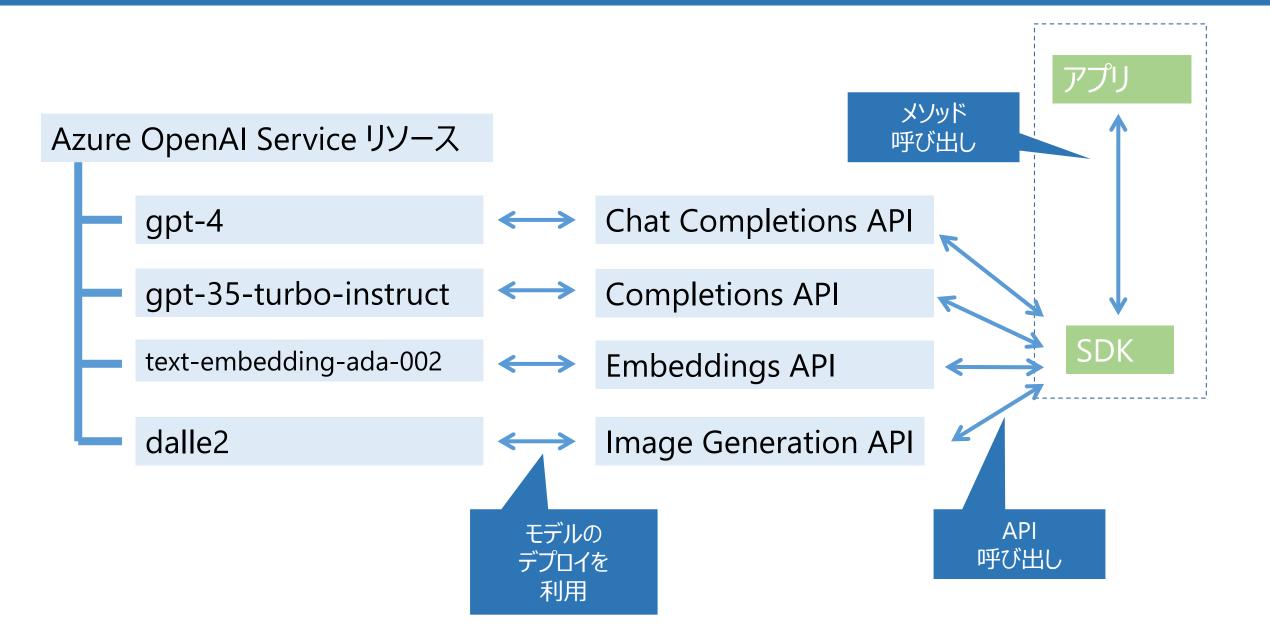


開発者は、Azure portalを使用して、Azure OpenAl Serviceリソースを作成する。また、Azure OpenAl Serviceを使用して、モデルのデプロイや、プレイグラウンドによる動作確認を行う。



Azure OpenAl Serviceを利用するアプリの作成





アプリの種類と言語

- 一般的なアプリの種類として以下のようなものがある。
 - Webアプリ
 - モバイルアプリ (iOS / Android)
 - デスクトップアプリ
- どのような種類のアプリにも、Azure OpenAl Serviceを組み込むことができる。
- アプリの開発言語としては、C#やPythonなどがある。

このモジュールでは、アプリのコード(C# / Python)からのAzure OpenAl Serviceモデルの利用方法(接続と呼び出しの方法) について解説する

Azure OpenAl Serviceリソースの作成

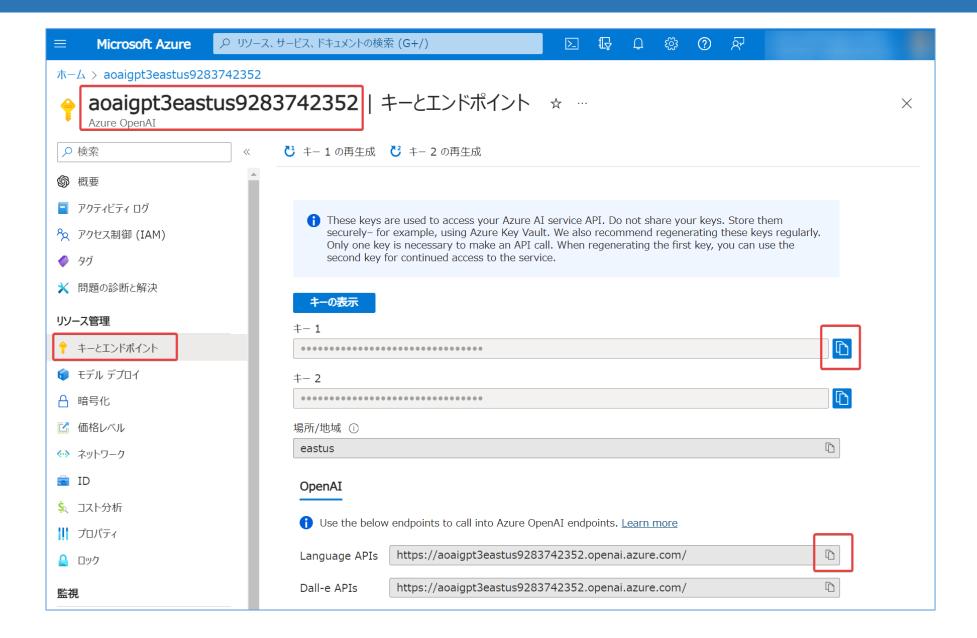
- Azure portalから、Azure OpenAl Serviceリソースを作成する。
- (前のモジュールで解説済み)



リソースを作ると、

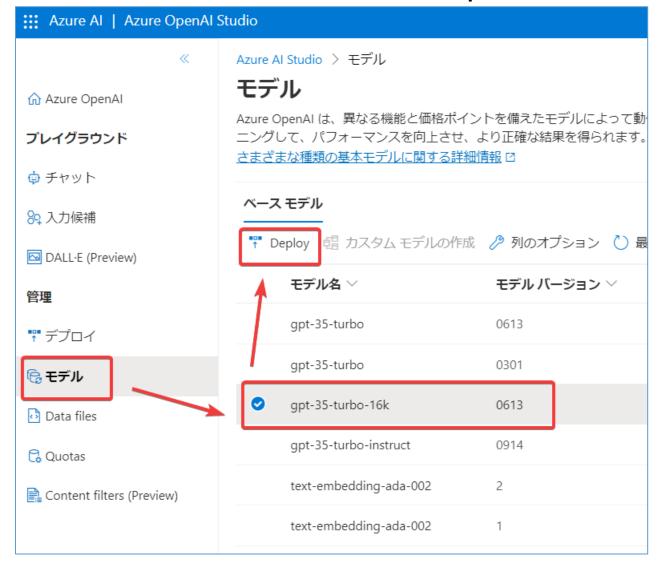
「キー」と「エンドポイント」が決まる

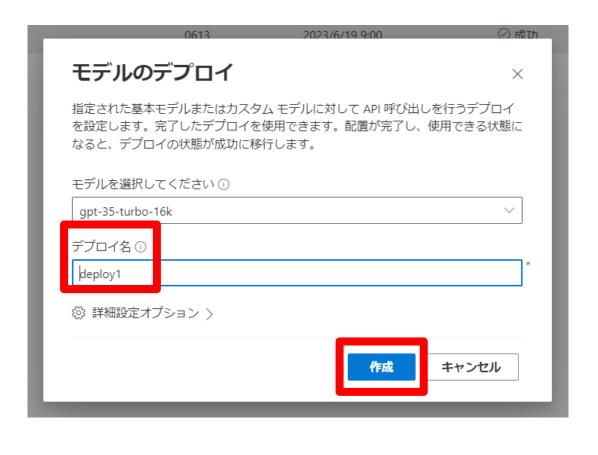
キーとエンドポイントの入手



生成AIモデルのデプロイ

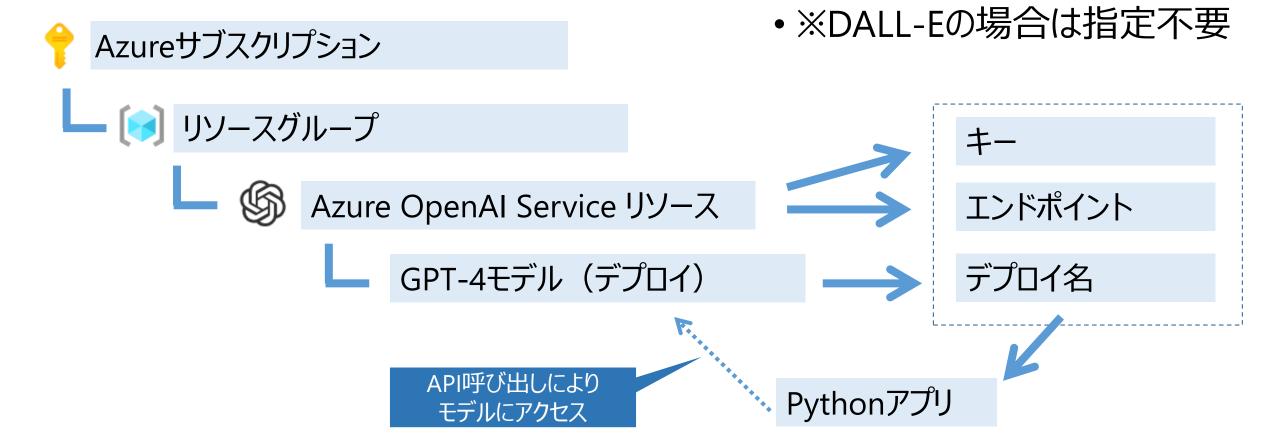
• モデルのデプロイはAzure OpenAl Studioから行う





「キー」「エンドポイント」「デプロイ名」

- キー:機能を呼び出すための認証情報
- エンドポイント: Azureリソースにアクセスするためのアドレス
- デプロイ名: Azureリソース内でデプロイされたモデルを特定するための名前



Azure OpenAl REST APIを使用する

- Azure OpenAl Service のモデルの各APIに直接HTTP POSTを送信することで、APIを利用することもできる。
- たとえば以下のように curl コマンドを使用して、リクエストを送信できる。

```
curl $AZURE_OPENAI_ENDPOINT/openai/deployments/gpt-35-turbo/chat/completions?api-
version=2023-05-15 ¥
  -H "Content-Type: application/json" ¥
  -H "api-key: $AZURE_OPENAI_KEY" ¥
  -d '{"messages":[{"role": "system", "content": "You are a helpful assistant."},{"role":
"user", "content": "Does Azure OpenAI support customer managed keys?"},{"role": "assistant",
"content": "Yes, customer managed keys are supported by Azure OpenAI."},{"role": "user",
"content": "Do other Azure AI services support this too?"}]}'
```

通常、アプリやシステムの開発では、SDKを使用したほうがコードを効率的に開発でき、完成したコードの可読性やメンテナンス性も向上するため、SDKを使用する。

Azure OpenAl SDK を使用する

- .NET (C#/F#/Visual Basic)からのアクセス
 - Azure SDK (Software Development Kit)を使用
 - Azure SDKは、アプリからAzure OpenAl Serviceを呼び出すためのライブラリのこと。
 - .NET(C# / F# / Visual Basic)用のSDK(Azure OpenAI クライアント ライブラリ)は、Microsoftが公式に開発している。
 - 同様に、Java、JavaScript、Go用のSDKも提供されている。
- Python / Node.js からのアクセス
 - Python / Node.js用のライブラリは、OpenAI社が公式に開発している。
 - Azure OpenAl Serviceへのアクセスにも使用可能。

ライブラリをアプリに追加し、クライアントに必要なパラメーターを設定します。 Azure OpenAI への接続を構成したら、使用できるエンドポイント (Completion、ChatCompletion、Embedding) のいずれかのにプロンプトを送信します。

例: Pythonライブラリ

- pip install openai または pip install openai --upgrade でOpenAl Python ライブラリのバージョン1.xがインストールできます。
- 2023年11月にOpenAl Python APIライブラリがアップグレードされ、バージョン1.x となりました。
- v0.28.1 からv1.x へのアップグレードはいわゆる破壊的変更であるため、コードをテストして更新する必要があります。

参考:Pythonコードのバージョンの差異

Chat Completionの使用例: 旧バージョン(0.28.1)の場合:

```
import os
import openai
openai.api_type = "azure"
openai.api_version = "2023-05-15"
openai.api base = os.getenv("AZURE OPENAI ENDPOINT")
openai.api_key = os.getenv("AZURE_OPENAI_KEY")
response = openai.ChatCompletion.create(
  engine="gpt-35-turbo",
  messages=[
    {"role": "system", "content": "Assistant is a large language model trained by OpenAI."},
    {"role": "user", "content": "Who were the founders of Microsoft?"}
print(response)
```

Chat Completionの使用例: 新バージョン(1.x)の場合:

```
import os
from openai import AzureOpenAl
client = AzureOpenAl(
api key = os.getenv("AZURE OPENAI KEY"),
 api_version = "2023-05-15",
azure_endpoint = os.getenv("AZURE_OPENAI_ENDPOINT")
response = client.chat.completions.create(
  model="gpt-35-turbo",
  messages=[
    {"role": "system", "content": "Assistant is a large language model trained by OpenAI."},
    {"role": "user", "content": "Who were the founders of Microsoft?"}
#print(response)
print(response.model_dump_json(indent=2))
print(response.choices[0].message.content)
```

知識チェック第1問

Azure OpenAl リソースに接続し、リクエストを送信するために必要な値は何ですか?

a. チャット、Embeddings(埋め込み)、Completions(入力候補)

b. キー、エンドポイント、デプロイ名

c. 概要、デプロイ名、エンドポイント

知識チェック第1問

Azure OpenAI リソースに接続し、リクエストを送信するために必要な値は何ですか?

a. チャット、Embeddings(埋め込み)、Completions(入力候補)

これらはAPIの種類を表す

b. キー、エンドポイント、デプロイ名

正解。この3情報が必要。

c. 概要、デプロイ名、エンドポイント

「概要」という値はない。また、キーがないと接続できない。

知識チェック第2問

デプロイされた Azure OpenAI モデルで利用できるAPIは何ですか?

a. Completions, Chat Completions, Translation

b. Completions, Chat Completions, Embeddings

c. Deployment, Summary, Similarity

知識チェック第2問

デプロイされた Azure OpenAI モデルで利用できるAPIは何ですか?

a. Completions, Chat Completions, Translation

Translationというものはない

b. Completions、Chat Completions、Embeddings

正解。なお、DALL-E用の Image Generation APIや、Whisper用の Speech to text APIもある

c. Deployment, Summary, Similarity

DeploymentやSimilarityというものはない

知識チェック第3問

Azure OpenAI で、チャットボットで使用され、入力された質問に対して回答を生成するために使用できる最適なAPIはどれですか?

a. Chat Completions

正解。Chat Completions APIは、チャットの質問と回答のようなやりとりを行うために使用される。

b. Embeddings

Embeddings APIは、埋め込み(文章のベクター表現)を計算するために使用される。

c. Completions

Completions APIは、入力補完(テキストの続きを生成)するために使用される。